

ポリテクカレッジ修了生の活躍事例①

福山職業能力開発短期大学の入校動機

○物づくりに興味があり、より現場に近い専門的な勉強をしたいと考え、生産技術科への進学を志した。

福山職業能力開発短期大学校での実習

○小柴氏が学んだ福山職業能力開発短期大学の専門課程生産技術科では、地元のモノづくり企業のニーズを踏まえ、講義で理論を学び、そのことについて実験・実習を通して理解を深めます。

さらに、就職後に必要な加工の理論だけでなく、図面やCADの勉強をし、2年生になると実際に自分で設計したものを、NC機械を使いプログラムを組み、工具の段取りも自ら行って加工を行うことで**実際のモノづくりの流れに沿って**おり現場さながらの技術・技能教育を実践しています。

就職先企業での活躍

有限会社堀本精工（広島県福山市）

○「技術の精巧さ」と「人の繊細さ」を合わせ、スピード感のあるより高度な製品を製作しています。機械や技術の発展は素晴らしいですが、人でしか感じ取れないものがあります。より満足のいく製品を作るため、人の熟練した感覚と技術から生まれるハーモニーをより美しく奏でることができるもの作りを行っている。

○金型製作から精密板金加工まで、創業より培ってきた伝統の溶接技術を活かした精密板金加工により成長を重ね、放電加工技術で製作した自製金型による複雑形状の成形加工のほか、高精度切削技術も組み合わせた複合加工にも対応しています。

生産管理面においても、工程管理等で独自のネットワークを構築しており、多品種少量・短納期・高品質に対応できる体制が整えられている。

○福山職業能力開発短期大学校からは、現在は**従業員**の約**4割**に相当する**17名**を超える修了生が働いております。



本社工場

福山職業能力開発短期大学校 専門課程 生産技術科
平成30年度修了 有限会社堀本精工 小柴 悠樹さん

職場での活躍

○小柴さんは、現在、切削加工部に所属しており、NC機械を使った**部品加工の業務に従事**しています。

○今後は、加工だけでなく、他の事業部の精密板金や特殊溶接の技術を身につけて、すべての加工業務に携われる技術者になりたいと思っています。



製造部(平成30年度卒)
小柴 悠樹さん

上司からの声

○学校で学んだ図面の読み取りの知識がしっかりしており、マシニングセンタの**プログラミング技術**が備わっており、適応が早かった。

現在はマシニング加工を中心とした業務を行っている。

○今後は、溶接や曲げ加工を習得し、多種多様な精密板金加工を行える技術者になれるよう、日々のレベルアップを図り、より一層の活躍を期待している。



製造部 班長(平成25年度卒)
大倉 勇人さん